

11 2016

## 日本小児科学会雑誌

The Journal of the Japan Pediatric Society

Vol. 120, No. 11, November 2016

## 総説

1. マルファン症候群, ロイス・ディーツ症候群……………森崎 裕子…1579  
 2. 乳幼児早期の腸内細菌叢が免疫システムに及ぼす影響……………山西 慎吾…1587

## 原著

1. 胆汁性嘔吐を主訴にNICUに入院した児の転帰……………玉井 望雅, 他…1597  
 2. 在宅重症児に対する連携手帳「和(なごみ)手帳」の使用状況と有用性……………余谷 暢之, 他…1601  
 3. 過去11年間に当院で診療した小児脳腫瘍の終末期医療……………船越 康智, 他…1609  
 4. 近年の小児細菌性髄膜炎の発生動向……………新谷 亮, 他…1614  
 5. 小児脳膿瘍9例の経験……………星野 直, 他…1624

## 症例報告

1. Rathke 嚢胞に伴う一過性尿崩症例……………中谷 恵理, 他…1631  
 2. 極端な偏食でビタミンD欠乏性くる病を発症した自閉症スペクトラム障害……………松岡明希菜, 他…1637  
 3. ロタウイルスワクチン株の便中持続排泄を認めた重症複合免疫不全症……………友田 昂宏, 他…1643  
 4. 母体ZnT2遺伝子変異に基づく低亜鉛母乳による亜鉛欠乏性皮膚炎……………小原 隆史, 他…1649  
 5. 冠動脈病変を認め, 血漿交換後, ステロイド大量療法で寛解した結節性多発動脈炎例……………久保 裕, 他…1657

## 論策

- 貧困世帯で暮らす小中学生の健康状態と家庭の特徴  
 ~外来診療での多施設共同調査より~……………佐藤 洋一, 他…1664  
 地方会抄録(秋田・宮崎・高知・島根・東京・山陰・長崎・青森・北陸・福井)……………1671

## 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

## Injury Alert (傷害速報)

- No. 63 加熱式タバコの誤飲……………1709  
 No. 64 女児の会陰部外傷……………1713  
 No. 65 コンセントに鍵を差し込んだことによる手掌電撃傷……………1717

## 医療安全委員会主催

## 第3回Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE)

- コースの報告……………1721

## 男女共同参画推進委員会報告

## リレーコラム キャリアの積み方—私の場合10

- 子育ては充電期間, 自分のペースを崩さずに……………1722

日本小児科学会 理事会議事要録……………1724

日本小児科学会英文誌 Pediatrics International 2016年58巻10号10月号目次……………1729

雑報……………1731

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 337……………1732

症例報告

ロタウイルスワクチン株の便中持続排泄を認めた重症複合免疫不全症

東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野<sup>1)</sup>, 聖路加国際病院小児科<sup>2)</sup>,  
東京医科歯科大学大学院茨城県小児・周産期地域医療学講座<sup>3)</sup>, 東京医科歯科大学医学部附属病院輸血部<sup>4)</sup>

友田 昂宏<sup>1)</sup> 満生 紀子<sup>1)</sup> 岡野 翼<sup>1)</sup> 田中 (久保田) 真理<sup>1)</sup>  
宮本 智史<sup>1)</sup> 木村 俊介<sup>1)2)</sup> 高木 正稔<sup>3)</sup> 今井 耕輔<sup>3)</sup>  
梶原 道子<sup>4)</sup> 金兼 弘和<sup>1)</sup> 森尾 友宏<sup>1)</sup>

要 旨

重症複合免疫不全症 (severe combined immunodeficiency : SCID) の9か月男児において, 便からロタウイルスの持続的排泄を認めた. 移植前に消化器症状は認められず, 臍帯血移植後一過性に症状を認めたが, 3週間でロタウイルスの排泄が認められなくなった. ロタウイルスワクチン接種後であったため, 排泄されていたロタウイルスがワクチン株由来の可能性が考えられた. そこで患者より排泄された便におけるロタウイルス遺伝子配列をサンガー法で確認したところ, ワクチン株由来のものと一致したため, 生後2か月に接種されたロタウイルスワクチン株の持続感染であると診断した. SCID 罹患者の便から排出されたロタウイルスをワクチン株由来であることをわが国で初めて同定した. 米国では SCID と診断される前に接種されたロタウイルスワクチンによる重症な脱水症状を呈した症例が報告されている. SCID 患者では生ワクチンによる顕性感染が起こりうるが, 通常, ロタウイルスワクチン接種が始まる生後2か月までには, 罹患を疑わせる身体所見が顕在化しないため, 早期診断することは困難である. すなわち SCID 患者をロタウイルスワクチン接種前に対象者から除外し, ワクチン株による感染を防ぐことは極めて難しい. わが国においても米国同様, 乾燥ろ紙血を用いた新生児マススクリーニングによる SCID の早期診断を導入すべきである.

キーワード: 重症複合免疫不全症, ロタウイルスワクチン, 新生児マススクリーニング,  
T-cell receptor excision circles, 臍帯血移植

はじめに

重症複合免疫不全症 (severe combined immunodeficiency : SCID) とは, 細胞性免疫不全ならびに液性免疫不全のために乳児期から重症感染症を呈する原発性免疫不全症であり, 生ワクチンの接種は禁忌とされている<sup>1)2)</sup>. しかし, SCID 患者は乳児期前半までは無症状で経過することが多く, ロタウイルスの接種が開始される生後2か月までに診断することは非常に困難であり, 診断前にワクチン接種される可能性が十分にある. 海外ではワクチン株由来のロタウイルス性胃腸炎で重症の脱水症を認め, 入院加療を要したという症例が複数報告されているが<sup>3)4)</sup>, 日本では現在のところ未報告である. 今回ロタウイルスワクチン (RotaTeq<sup>®</sup>) 接種後に X 連鎖 SCID と診断し, ワクチン株の持続的排

泄を認めた乳児例を経験したため報告する.

症 例

症例: 9か月, 男児

家族歴: 特記事項なし, 姉: 生来健康, 易感染性のエピソードなし

既往歴: RS ウイルス感染症罹患歴あり, 鉄欠乏性貧血に対して鉄剤内服

周産期歴: 在胎 37 週 5 日, 2,660g 特記事項なし

ワクチン接種歴: 4 種混合, ヒブ, 肺炎球菌ワクチン各 3 回, B 型肝炎 2 回 BCG 未接種, ロタウイルスワクチン (RotaTeq<sup>®</sup>) 3 回 (生後 2, 3, 4 か月)

現病歴: 生後 5 か月時に鼻汁, 咳嗽, 体幹ならびに四肢に点状出血を認め, 近医小児科を受診した. その際, 脾腫を指摘され, 前医に紹介入院となった. 入院時血液生化学検査では血算・凝固・生化学は異常を認めなかったが, 高 IgG 血症 (IgG 3.140mg/dL) を認めた. 入院 3 日目に RS ウイルス性肺炎を発症し, 胸部 CT 検査で間質影を認め, 生化学検査で KL-6 高値 (2,005U/mL) を指摘された. ステロイド点滴加療, 酸

(平成 28 年 4 月 1 日受付) (平成 28 年 7 月 25 日受理)

別刷請求先: (〒113-8519) 文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野

金兼 弘和

E-mail: hkanegane.ped@tmd.ac.jp